

# 動労「本部」の組織運営のデタラメ性がばく露される

5/18 「中江公判」南かる



82.5.24

No. 1051

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(電話)二九三五〜六八八(会館) 二七二〇七

## 『中江問題は、日高(権力座通)問題より罪状が重い』

### — 動労「本部」副委員長青木が驚くべき証言!! —

5月18日、東京地裁において「中江昌夫氏退職金返還請求訴訟」が12回公判が南かれました。今回は、動労「本部」青木副委員長に対する反対尋問が行われ、青木、証言を通して、動

労「本部」革マルがいかに動労千葉を憎悪し、排除の論理にたつたデタラメな組織運営をやってきたかが暴露されました。

## 規約・規則を公然とふみにじる動労「本部」

動労「本部」が犠牲規則に違反し、中江氏に退職金を支給しない理由について、青木は、「日高に比べ、中江は罪状が重いからだ」と証言している点を見逃すわけにはいきません。

すなわち、本来、犠牲規則が除名された場合の退職金の支給は認めていまして、

しかし、日高問題へ中執でありながら、警察権力と接触し、動労の大会等、権力に情報を流したことで除名される。発生後、一九七三年に、退職金を支給する」と規約を改正しました。従って、当然にも中江氏に退職金を支給すべきにもかかわらず、中江氏が動労「本部」に辞任届と退職届を提出(一九七九年四月)するや、その直後(一九七九年八月)に急死。再が、退職金は一切支給しない」と規約を変えようという行為に出たのです。

このことは、二つの意味で更に犯罪的であるといえます。

オ一に、動労「本部」は、自らの行為が明らかに規約

## オ二に、「三里塚敵対」

規則に違反しているという事実を認めたくなくて、しかし、「生きて運動をやっている以上、規則に違反することもあり、違反したからといってどうということはない」と強弁して、デタラメな組織運営の裏態を南きなおっていることです。

「貨物安定宣言」「革マルの「水本」デマ運動への引まわし」そして異なる意見を持つ部分に陰湿なテロ、リレーや統制処分を乱発して排除のための排除をますます深める動労「本部」を憂え、革マルによるセクト的引まわし、変質を弾劾し、動労大改革を訴えて辞表を提出した中江元中央副執行委員長の「罪」は、権力と密通したスパイ。日高の罪よりも重い、という、驚く

べき論理を公言していることです。

## 平気で権力と一体化する反動的心情を吐露

ここに動労「本部」革マルの基本路線の本質がよく表われており、革マルの腰巾着「青木にして言える言葉です。「革マルに反対する奴は憎むが、権力と一体化となったスパイはまだましだ」という彼らの反動的、反労働者の心情。本質は、今日、動労千葉をはじめ卑劣な労働者を権力にタレコミ、告訴し、平気で弾圧や処分を要請する。という、最も醜悪な姿。動労の「警察労働組合」化を急速に深化、完成させつつある事に結実しています。

動労「本部」による苦しませの裁判引きのばし策動を許さず、公判勝利・動労大改革へ前進しよう。(次回公判は、8月17日、13時、土屋輝への反対尋問)

## 3回 動労千葉卓球大会

日時・6月9日(水)、9時  
場所・千葉公園体育館

★団体戦および個人戦。(詳細は、支部サークル協にお尋ね下さい)  
★参加申し込みは、6月5日までに、本部サークル協まで。